

国を思う心 この地に育つ

軍人にして内閣総理大臣を務めた米内光政が、
幼少時代をすごしたこの八幡町の地。
盛岡八幡宮の表参道沿いに
その碑は建っています。



米内光政
居住地跡

米内光政は、明治13年に現在の盛岡市愛宕町に生まれ、その後、この八幡町に移り住みました。

現在は、その当時の住居はなく、その場所を特定できるものは、居住地跡の碑だけです。

第37代内閣総理大臣、その期間は短いものの戦前・戦中・戦後の混乱期にあたり、米内光政は、日本を救った政治家、軍人として高い評価を得ております。

太平洋戦争終結時、海軍大臣として尽力するにあたりその基となった、一貫した平和への思いが、この国を導き、今の日本の礎となったことは、盛岡人の誇りです。

この居住地跡の程近くにある盛岡八幡宮の境内には、米内光政の銅像があり、今でもこの地から平和を願い、この国を見守っています。

